

愛知県の養豚農家で 豚コレラ(国内26例目)の疑似患畜 が確認されました

<発生施設の概要>

所在地: 愛知県田原市 飼育頭数: 1, 254頭

<経緯>

愛知県は、6月11日(火)、国内23例目の移動制限区域内にある田原市の養豚農場において豚コレラの清浄性確認検査を行うため立入検査を行い、1農場で精密検査を実施したところ、6月12日(水)、豚コレラの疑似患畜であることを確認しました。

豚コレラ

2018年9月から続発!!

特徴的な症状が無く、気がつきにくい疾病です!

発熱、食欲不振、元気消失等、うずくまり、便秘に続く下痢、呼吸障害等
異状を発見したら直ちに通報しましょう!



耳翼の紫斑



元気がない



結膜炎

写真出典: 岐阜県

重症例は後躯麻痺・運動失調・四肢の激しい痙縮などの神経症状、皮下出血による紫斑(耳翼、尾、腹部、内股部)を呈し死亡。

症状が明確になるまで時間がかかります。
飼養豚の毎日の丁寧な健康観察による異常
の**早期発見・早期通報**をお願いします!

異常を見つけた場合には直ちに山梨県東部家畜保健衛生所まで

電話: 055-262-3166 FAX: 055-262-3108

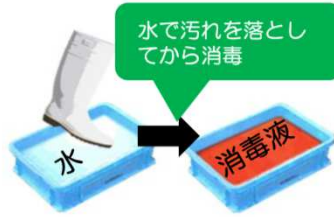
夜間・土日・休日の連絡先: 090-5535-8005

土日・休日の連絡先: 090-5544-7868

衛生管理を徹底しましょう!



関係者以外の農場
への立入を禁止



農場(畜舎)に出入りする
際には、消毒を実施



飼料に生肉を含む又は含む
可能性がある場合は、
十分に加熱処理

生産者、畜産関係者の皆様には、
以下の**対策の徹底**を改めてお願いします。

<人・物・車両によるウイルスの持込み防止>

- ◆ 飼養衛生管理区域、豚舎への**出入りの際の洗浄・消毒**
- ◆ 衛生管理区域**専用の衣服、靴の設置と使用**
- ※ 特に立入る頻度が高く、ウイルスが侵入するリスクの**高い分娩舎等**で**清掃・消毒・手洗い**等を徹底するとともに、**専用長靴を使用**
- ◆ 飼料に肉を含み、又は含む可能性があるときは、あらかじめ**摂氏70度・30分間以上**又は**摂氏80度・3分間以上の加熱処理**

<野生動物対策>

- ◆ 飼料保管場所等への**ねずみ等の野生動物の排せつ物等の混入防止**
- ※ ウイルスを伝播する可能性のある**ネズミ等の野生動物対策に万全を期すため**、日頃から**殺鼠剤の散布**や、**消毒効果も含め、農場周囲への消石灰の散布**を念入りに行う
- ◆ 豚舎周囲の**清掃、整理・整頓**
- ◆ 死亡家畜の処理までの間、野生動物に荒らされないよう適切に保管